

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議
編集者：代表幹事 高橋 賢
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



熱田神宮
平成26年九月三日

あつたじんぐう
熱田神宮
三種の神器の一つ

草薙神剣まつる

その創建は1713年にまでさかのぼる。
熱田神宮にまつられてゐる草薙神剣は、
神話にも登場する剣で、八咫鏡、八咫瓊杵と
合わせて三種の神器と呼ばれ、
皇位継承の神聖とされてゐる。
八岐大蛇の尻尾から出てきたとされる剣は、
紬折を巻いて伊勢神宮に遷された。
景行天皇の御代、日本武尊が後、
東夷征伐においてその力を発揮したといひ、
そして尾張(愛知県西部)
で宮簀媛命を妃に迎へ入れ、この剣を託し、
吹吹山の賊を討伐に向かう。
日本武尊は、伊吹山中七山の神の毒気に触れ、
伊勢國(三重県)で七くたせしむる。
宮簀媛命は託された神剣を、一族が祭場と
して熱田の地へまつることにした。
これが熱田神宮の創祀といわれている。